



宇宙

Vol.54

●題字は深町正喜氏



原尻の滝 (小南達矢氏 撮影)

九州北部豪雨	2
日帰りバス旅行	3
全体研修	3
東北慰安旅行	4
職員旅行	6

聖陵トピックス	7
日田漫歩 ④〇	8
「日田を九州の軽井沢に…」	
かんたんレシピ no.6	8

水害ボランティア

はじめに、今回水害に遇われた方に、心からお見舞い申し上げます。

7月3日の大雨に伴う増水により、日田市の沢山の地域で水害が発生しました。

私の知人や職場の方の自宅も床下・床上浸水の被害に遇われました。そんな中、日田社会福祉協議会のボランティア募集を知り、参加することになりました。

ボランティアは数人の方たちとチームを組み、指示された場所に行き、浸水した家の片付けをお手伝いするのが主な活動でした。

派遣された場所は有田地区。

訪問看護と言う仕事柄、色んな場所に行き見慣れた風景のはずでしたが、現場に行く車の中、言葉にならない風景が広がっていました。

小さな川が、こんなにも大きな被害をあたえた自然の恐ろしさを感じました。

ボランティア先では、家財道具の運びだしや床下の泥だしなどを行いました。水を吸った畳はとても重く、お年寄りだけの世帯が多い地域では水害の片付けは厳しい状況の家庭が多いように思えました。

1日に出来るボランティアは、内容にもよりますが2～3件程です。今回ボランティアを通して、少しでも手伝いが出来たのかな？と思いこの日は家路に着きました。

私の中で水害の悲惨さが薄れ掛けていた8月中旬、仕事で前津江柚木に行く事がありました。水



害時に孤立している地域となっている事は知っていましたが、まだまだ水害の爪跡が多く残っており、水道の水も昨日からやっと使えるようになった事を聞きました。この暑い最中、水道水の無い生活は大変なものがあったと思います。

今回の経験で、水、電気、家のある平凡な生活は、とても幸せな事だという事を再確認することが出来ました。

そして、水害で今までの生活がまだ取り戻せていない方々に早い復旧を願い、これからも少しでも力になれるボランティアがあれば参加して行きたいと思います。

岩里病院 看護師 財津丸美



日帰りバス旅行

平成 24 年 6 月 3 日、福岡県柳川市に患者さん 25 名、病院職員 14 名、総勢 39 名で日帰りバス旅行に行ってきました。

16 回目となる今年の旅行は、添乗員さんのいない旅行となり、当院の山田院長が添乗員を兼ねながらの旅となりました。

日田を出発し、途中、サービスエリアでトイレ休憩を取りながら、最初の目的地に到着。柳川藩主立花邸「御花」で集合写真を撮り、西洋館、資料館、松寿園を見学。建物内はエレベーターなどないため、二階を見学したいと希望される車椅子乗車の患者さんも、男性職員を中心に車椅子ごと階段をかかえて昇り降りし、希望通り見学していただきました。その後は、うなぎのセイロ蒸を堪能し、一息つき、食後は、今回の旅行の目玉、「柳川城」築城のりに作られた「お堀」をどんこ船に乗って巡る川くだりを楽しみました。

当初は、車椅子を利用される患者さんが 5～6 名いらっしゃるのでは、全員船に乗ることができないか不安でしたが、「全員どうにかして船に乗せる」との院長の意気込みが後押しし、患者さんも不安定な足元のなか、職員の介助を受け自力で船

の乗り降りを行いました。3 艘の船に人と車椅子を乗せて、時にはすれ違う船に手を振りながら、一時間ほどの時を過ごしました。

終点の船着場では、車椅子に患者さんを乗せて、かかえて階段を移動する私たちを目にした。観光客の若い男性数名が、車椅子を一緒にかかえてくださる出来事もあり、人の温かさにも触れることのできた素敵な旅でした。

帰りは、お約束のお買い物を終え、たくさんのお土産を手には楽しい一日が終わりました。日頃、自分の体調に不安を抱え、なかなか旅行に行くことのない患者さんにとって、医師をはじめ、病院職員が同行する旅行は患者さんが安心して参加できるものだと思います。また、この日ばかりは、患者と病院職員という関係から、一緒に旅を楽しむ家族に近い気持ちで私たち職員も参加しています。

今後もこの日帰り旅行が続くように、患者さんの参加をお願いしたいと思います。

岩里病院 藤田弘美



平成 24 年度全体研修会

感染／「院内針刺し事故について」

JRE／「アルギニン入り経腸栄養剤における褥瘡の改善」

安全管理／「安全管理研修」DVD 上映 ※当院にて作成されたもの

節約委員会／「省エネ運用改善のポイント」 ※日本テクノ（株）

レクリエーション委員会／「友真会の規定について」

特別講演 「天領日田～一番栄えた時代について～」 長善寺住職 大神信證 氏

7 月 21 日（土曜日）パトリア日田にて平成 24 年度聖陵会全体研修会が開催されました。

毎年、岩里病院、花月クリニック、聖陵ストリームの全職員を対象に行われるこの研修ですが、昨年より、特別講師をお招きし、一般公開で講演をしていただいています。

まず一部は、職員研修として上記プログラムにおける発表、質疑応答があり、二部からは、一般の方にも入場いただき特別講演を聴いていただきました。

今年は、長善寺住職 大神信證氏による「天領日田～一番栄えた時代について～」講演していただき、日田に生まれ育った私も知らない時代を聴くことができました。

このような特別講演は、医療としての知識だけではなく、また、学校の授業でも習わないような広い世界を知ることのできる学習の場だと思えます。

岩里病院 藤田弘美



針刺し事故について話す砂原先生



全体研修会質疑応答



特別講演

東北慰安旅行

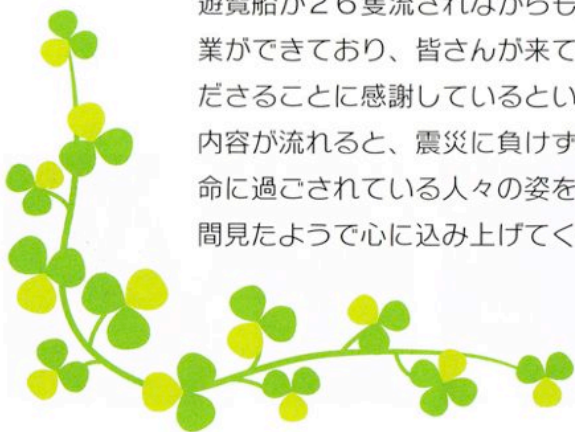
7月30日、それは福島・仙台での職員旅行の最終日に起きました。出発前にホテルで朝食を食べようとしていると震度4の地震が起きたのです。一緒に行っていた職員は「揺れたね」と話していたものの私は揺れたことに全く気付いていませんでした。しかし、未だに地震が続いているという現実を知り、改めて旅行での日々を思い返していました。



福岡空港を発ち仙台空港へ降り立つと、滑走路も空港内も整備されており良好に復旧が進んでいると感じました。そのため、安心して空港の外へ一歩出てみると、さっきまでの私の思いが一瞬にして覆されることとなったのです。目の前には、津波で押し流され何も無い土地が広がり、曲がったままのガードレールがまだありました。それを見た瞬間、津波の威力の凄さと恐ろしさを感じ、震災の凄まじさを肌で感じた最初の出来事でした。

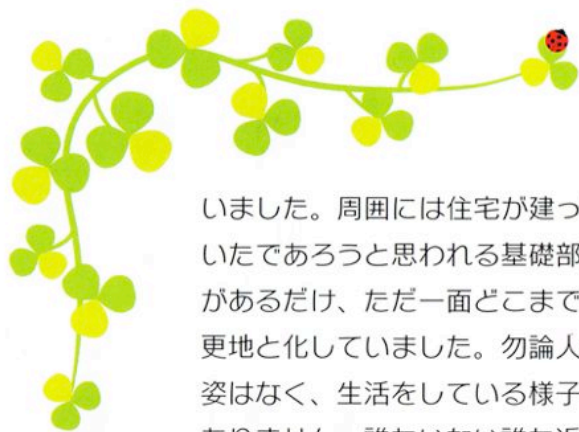
その後、被害のあった松島の遊覧船へ乗船し湾を一周しました。船についてくる無数の海鳥と景色に目をやりながら、震災の被害の状況を話す船内アナウンスに耳を傾けました。津波により小型

遊覧船が26隻流されながらも営業ができており、皆さんが来てくださることに感謝しているという内容が流れると、震災に負けず懸命に過ごされている人々の姿を垣間見たようで心に込み上げてくる



ものがありました。私たちは松島を後にし、津波被害の大きかった宮城県山元・新地 地区に行きました。そこで、私はこの旅で二度目の凄まじさを感じることとなりました。二階建ての大きな小学校校舎全体が津波にのまれたままの姿で立っ





いました。周囲には住宅が建っていたであろうと思われる基礎部分があるだけ、ただ一面どこまでも更地と化していました。勿論人の姿はなく、生活をしている様子もありません。誰もいない誰も近寄らない不気味さを感じながら、一瞬にして平穏な人々の家や生活の思い出、命を奪った津波に強い怒りさえ覚えました。

旅行中は、職員の放射線検査技師が測定器にて放射線量を調べていました。身体上は全く何の変化も感じないものの、南下するにつれ放射線量が増えていき、南相馬に入ると仙台の三倍もの放射線量を表示しており恐怖を感じた瞬間でした。

旅行二日目は、南相馬では有名な相馬野馬追祭りが行われていました。昨年は震災の影響で開催されず2年ぶりの開催になっていましたが、来場者数は4万人以上とすごい熱気でした。先祖代々伝わる大きな旗を背負って走るのはかなり大変なことでしょうが、その姿は相馬の皆さんの誇りであるのだらうと思いました。その中でも特に印象に残ったのは一周千メートルを十頭立てで行われた「甲冑競馬」です。背中にある指し旗のはためく音、砂が舞う中走り抜ける迫力……。そんな先祖代々の祭りに、可能なら騎手として私もちょっと出てみたいと思いました。

その他に南相馬では先日岩里理事長と共に日田で講演をしてくれた八幡祥子さんの大谷派正西寺に立ち寄り、お母様と震災のこと、原発事故の話をお聞かせいただきました。「原発事故以降はこの木に蝉が止まらなくなったんですよね……」との話からその木の放射線量を測定したところ周囲の三倍の数値が測定されました。私たち人間にはその違いが分からなくても、虫たちには分かるのでしょうか。それが故に、蝉も止まらなくなったのではないのでしょうか。その意味することを私たちはもっと考えていかねばいけないかもしれません。



最後に現在不通（陸前小野駅から高城町駅）になっているJR仙石線沿線を見に行きました。こちら津波の影響で線路が途切れたりして凄惨な状況でした。今は代行バスにて運行していますが、普及には100億円かかるとも言われておりその想像を絶する費用に驚きました。

今回の旅行では自らの目で被災地を見たことで震災の凄さや実施の現状を知ることができました。そして改めて放射能についても考える機会となりました。身体上は何ら変化を感じていないのに数値は変化している事、そのような恐怖を感じながら生活している人たちがいることを思うと切なくなり、何か早く解決方法がないものか考えさせられる職員旅行でした。

ストリーム 平 将門



◆職員旅行

7月8日。聖陵会職員旅行第1班として、福岡市へ行ってきました。この日帰り旅行のメンバーは小さな子どもさんのいる職員ばかり。子ども抜きで出かけるなんてことはめったに出来ないのでは出発と同時にバスの中はテンションマックス。「祇園の山が見られるね。」「お土産は何買おう。」など会話がはずみます。福岡に到着後、山鉾の見学をしながら散策。櫛田神社では、子供みこしのタイムレースが行われていました。小さな小さなみこしをこれまた小さな子どもたちが担ぐ訳ですが、みんな一生懸命で。こうやって伝統というものは受け継がれていくものなんだと思いました。そして、今回の旅のメインイベントは博多座で公演中のミュージカル『エリザベート』の観劇です。座席について驚いたこと、それは生オーケストラによる演奏です。役者さんたちの演技はもちろんですが、オーケストラの素晴らしさに近年ないほどに感動しました。最後のカーテンコールも役者さん、観客、オーケストラが一体となって割れんばかりの拍手に包まれていました。その後、場所をキャナルシティーに移してティー&ショッピングタイム。短い時間ではありましたが、職員それぞれが思い思いの時間を過ごしました。そしてあっと言う間に帰りの集合時間。「もうすこしゆっくりしたかったね。」という声と同時に「子供にお土産買ったよ。見て。」などとやはり最後は子供に早く会いたい一行でした。普段の生活では味わうことのできない経験をさせて頂き、とても充実した一日となりました。

ストリーム 高瀬麻美



◆職員旅行

7月15,16日と、熊本旅行に行ってきました。前日の大雨で中止の話も出ましたが、旅行会社の方がルート安全確認をした上で旅行を決行することになりました。

まず始めに今回の熊本旅行のテーマである「ハンセン病」について学ぶために、国立療養所菊池恵楓園に行きました。スタッフの方にハンセン病の歴史・施設内の生活風景などの展示資料を見ながら説明していただきました。その後昼食をとり、次に熊本城へ向かいました。熊本城は広く、歩くのに疲れましたが、天守閣からの眺めはとても気持ち良かったです。夕食は熊本城を眺めながら熊本の郷土料理を頂きました。

2日目はまず最初に宇土・粟島神社でミニ鳥居くぐりをしました。その後三角西港を散策し、昼食は海鮮丼セットを頂きました。天婦羅や茶碗蒸しも付いていてボリュームたっぷりでした。午後からは船に乗ってイルカウォッチングをしました。岸から20分ほどでイルカの群れと遭遇することができ、たくさん



のイルカを見ることができました。

帰りは日田に近づくにつれ天候が悪くなり激しい雨と雷でしたが、無事に予定時間に帰り着くことができ、とても楽しい旅行となりました。

ストリーム 角 泰樹



観光祭

5月26日に第26回聖陵会観光祭を行いました。聖陵会の観光祭は、こども発達・支援センター「銀河」の子どもたちやOB、その御家族を招待し、毎年イベントや屋上からの花火鑑賞を目的に開催しています。

4月上旬より実行委員で準備を進め、前日はボランティアスタッフの協力で会場設営を行い本番当日を迎えることができました。

当日は聖陵会芸能隊、大道芸人阿蘇ちゃちゃ丸さん、岳滅鬼太鼓さんによるイベントで会場内は大歓声と笑顔と拍手で包まれました。

観光祭の一大イベント花火鑑賞は毎年、天気にも

まされていますが、今年は天気に恵まれ、屋上より大輪の花火を鑑賞することが出来ました。

大きな事故もなく、最後まで無事終わることが出来ました。足を運んでくださった皆様ありがとうございました。また来年お会いできたら嬉しいです。

平成24年度 聖陵会観光祭実行委員長 江藤由美



第15回聖涼祭

去る8月4日、第15回聖涼祭を開催しました。今年は「けっばれ東北～三つの可能性 力・願い・魂～」をテーマとし、東日本大震災から1年半経った福島の実況や、東北の伝統ある祭りの紹介、福島の郷土料理「ゆべし」の出店を行いました。災害に関連し、7月に日田市で起こった水害の様子も放映しました。

当日は多くの人でにぎわい、屋外イベントでは『THE BONCHI』『三味線教室りくの会』『よかとき太鼓』をお招きし、みなさん迫力あるステージを楽しんでおられました。その他、カレーや焼きそば、炭火焼きなどの屋台、屋内でのバザーの開催もたく

さんの方でにぎわいました。また、毎年恒例の盆踊りでは、竹灯籠の灯りのなか『亀川町くどき保存会』のご協力のもと、多くの方に踊りに参加して頂き大変賑わったものとなりました。

今回の聖涼祭もたくさんの方のご支援、ご協力のもと無事に開催することができました。皆さんにとって良い夏の思い出になれば幸いです。

平成24年夏祭り実行委員長 梅田徹



リバーフェスタ in みくま川

8/26(日)に三隈川で行われた、リバーフェスタに参加しました。

今年は7月に襲った九州北部豪雨の影響により開催も危ぶまれましたが、実行委員会の方々の努力により無事開催され、聖陵会も例年通り参加することが出来ました。

水環境委員会は毎年恒例のビール、ジュース販売に加え、今年は環境にやさしい廃油石鹸を自分達で作成し、作り方を掲載したチラシと一緒に無料で配布しました。合計で84個配ることができました。来場された方々に配布していると、時々「私も作って使っています。」といった言葉もあり、環境について考え実践している方は多いんだなと感じました。

私達水環境委員会は毎年参加させて頂いていますが、残念ながら年々来場者の数が減少しているよう

に感じます。九州北部豪雨では自然の猛威、水の怖さを改めて知らされました。私達人間は水がないと生きていけません。今後水とうまく共存していくためにも水の大切さ、川や森といった自然の大切さを小さな活動の中で少しでもアピールし、1人でも多くの方に環境について目を向けてもらえればと思います。



岩里病院 井上勇雄

日田漫歩⁽⁴⁰⁾

「日田を九州の 軽井沢に…」



梶原義則

10年ほど前。高鶴元さんという、国際的に有名な陶芸家が日田に来た。福岡にいたころ面識があった。筑豊の上野焼出身。1980年、ハーバード大客員研究員として渡米し、ボストン郊外に築窯した。大石昭忠市長（当時）と共に飲んだ。巨匠が言う。「新しいアイデアと血液が街を元気にする秘訣。日田を、九州の軽井沢にしたいなあ」。その時、筆者は妙な顔をしたに違いない。「そんなアホな……」

だが05年、合併で加わった天瀬町の五馬高原を見て考えを変えた。高原の風情、広葉樹林、別荘群、くじゅう山系の山並み、渡る風のさわやかさ。満更そう言えなくもない。

昨年4月のこと。五馬高原にある市営ローズガーデン。約150品種・2000株のバラが魅力を発散するが交通アクセスに恵まれず、採算性が悪い。「ここに、鹿児島で開催中の全国都市緑化フェア（花博）で人気のロイヤルコースのバラ群をもらい受けたらどうか。多くの客

を呼べるぞ」

プリンセス・アイコ、プリンセス・マサコ、プリンセス・ミチコなど皇室関係や篤姫ローズマクイーン・エリザベス、ダイアナ・プリンセス・オブ・ウェールズ、グレイス・ドゥ・モナコ、マリー・アントワネットなど欧州の王室関係▽マリリン・モンロー、エリザベス・テイラー、イングリッド・バーグマン、オードリー・ヘップ・バーンなどハリウッドスター▽クレオパトラなど歴史上の人物。世界のヒロインが愛したり名前を冠した名花が数十種類も。

実は、筆者が理事をしているNPOを通じ、主催者の県から「閉会后（昨年5月末）」にもらう手はずだった。が、結局「会場にそのまま残す」ことに。今でも惜しまれてならない。



鹿児島であった花博のバラ展示会場（昨年5月）

経歴：毎日新聞記者。鹿児島支局長、経済部長、編集委員を経て2000年4月、日田赴任。

かんたんレシピ

no. 6 豆腐と納豆のお好み焼き

豆腐と納豆のお好み焼き。ふわふわの食感です。つなぎの小麦粉などは控えめなのでカロリーダウンのヘルシーメニューです。
(所要時間：15分)

【材料】

豆腐と納豆のお好み焼きの材料(直径5~6cmのもの12個くらい)
豆腐/1丁、納豆/1パック、万能ねぎ/少々、小麦粉/大匙4、片栗粉/大匙4、花かつお/適量、お好みソース/適量、マヨネーズ/適量

【つくりかた】

1. 豆腐は水切りをしておく。
2. 水切りをした豆腐をつぶして納豆、納豆のたれ、小麦粉、片栗粉を入れて混ぜる。
3. フライパンを熱して油を引き、お玉で②をすくって小さめに丸く落とす。
4. 両面をこんがり焼いてお好みソース、マヨネーズをかけて刻みねぎ、花かつおをトッピングする。

(岩里病院栄養給食科)



編集後記

新メンバーとなり2回目の広報誌発行となりましたが、今回も少しおくれてしまいました。

人に伝える広報誌を作るってとても大変ですね。でも、皆さんからの「楽しみにしてるよ」と言う言葉をはげみにがんばっています。

次回号こそ、おきれないように発行します。

広報委員会「宇宙」担当



医療法人 聖陵会

■ホームページ <http://www.seiryu.or.jp/index.html>

■E-mail seiryu@seiryu.or.jp

救急指定 聖陵岩里病院

介護老人保健施設 聖陵ストリーム

居宅介護サービスセンター

訪問介護サービスセンター

こども発達支援センター銀河

聖陵花月クリニック

アンコール小児病院(カンボジア)